

第2回 FMIセミナー in 名古屋

中部地区、FMIテクノロジーに特化した集中セミナー第2弾！

主催：株式会社豊通シスコム/株式会社ヴィッツ

| | |
|----|--|
| 日時 | 2015年10月28日(水) 13:00～17:15 (開場:12:15) |
| 概要 | FMI(Functional Mockup Interface)は異なるシミュレーションツール間においてモデル交換を可能にする共通インターフェース規格として策定され、モデルベース開発(MBD)の浸透とともにキーテクノロジーとして益々ニーズが高まっております。そのような環境を踏まえ、昨年に続き本セミナーを企画しました。今回はトヨタ自動車株式会社様、株式会社本田技術研究所様をお迎えしご講演頂きます。皆様のお申込み、ご参加を心よりお待ちしております。 |
| 場所 | ウインクあいち 1103会議室 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 電話:052-571-6131 |
| 定員 | 80名 (登録制) ※定員を超えるお申込みの場合は受講頂けない場合がございます。あらかじめご了承ください。 |
| 費用 | 無料 |
| 協賛 | ダッソー・システムズ株式会社 dSPACE Japan株式会社 モデロン株式会社 |

会場アクセス：<http://www.winc-aichi.jp/access/>



ウインクあいち

〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
TEL: 052-571-6131
FAX: 052-571-6132



電車をご利用の場合

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄) 名古屋駅より
◎JR名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

<お申込み方法>

『申込書送付先』を記載しております。そちらを御確認下さい。

<問合せ先：事務局>

株式会社豊通シスコム 製造ソリューション部 担当：中澤

TEL:052-589-9212 FAX:052-589-4027 E-mail:hayato_nakazawa@tsyscom.co.jp

■タイムテーブル

※内容が変更となる場合も御座います。予めご了承ください。

| プログラム | | ＜講演会社＞ |
|-------------|--|------------------------------------|
| 13:00～13:05 | 開会、ご挨拶 | |
| 13:05～13:35 | 『 Modelicaの進化 とFMIで実現する新しいモデルベース開発 』 本セッションでは、Modelica環境の最新動向を紹介するとともに、ダッソー・システムズが提唱する 3DEXPERIENCE の中でFMIによって実現されるモデルベース開発の方向性を示します。 | ダッソー・システムズ株式会社 |
| 13:35～14:20 | 『 将来電動化車両のモデルベース開発へのModelicaとFMIの応用 』 Modelica言語を用いた車両統合モデルを開発し、車両の運動性能、外乱安定性、エネルギー消費の性能予測を実施。また、FMIを用いて車両統合モデルのコンポーネントを仮想走行テスト環境ソフト「CarMaker」へ取込み、実走行環境でのドライバ操作負荷、エネルギー消費のパラメータスタディを実施。本講演では、モデルの詳細と検討結果についてご紹介いたします。 | トヨタ自動車株式会社 平野 豊 様 |
| 14:20～15:00 | 『 新モデルベース開発・FMIに向けたdSPACEの取り組み 』 開発工程のVサイクルの両側で使える検証プラットフォームと適用事例および規格FMIへの対応についてご紹介いたします。 | dSPACE Japan株式会社 |
| 15:00～15:15 | 休憩 | |
| 15:15～15:50 | 『 FMIでの非因果的モデル接続の取組 』 モデリングの言語やツールに依存しないシミュレーションモデルの接続規格であるFMIを用いて非因果的なモデル接続の取組を自技会WG活動として行った内容をご紹介いたします。FMIでのモデル生成とモデル接続方法および注意点に加え、今後の自動車開発での活用に対する課題と期待を述べられます。 | 株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 嶋田 敏 様 |
| 15:50～16:15 | 『 FMI2.0での新機能(概要)について 』 2010年にFMI1.0がリリースされ、自動車業界のみならず各業界にて利用が進んでいます。本講演では、FMI2.0の新機能(概要)についてご紹介いたします。 | 株式会社豊通シスコム |
| 16:15～16:45 | 『 FMIによるモデルベース開発 』 本講演ではモデル流通の観点からFMI準拠したモデルの制御開発、パラメータスタディ、HIL環境構築、ロバスト設計などへの適用方法について、ユーザ事例を交えながらご紹介いたします。 | モデロン株式会社 |
| 16:45～17:10 | 『 プラントモデル開発・シミュレーション環境構築の勘所 』 本講演では要求性能を満たすのではなく、本来達成したい機能改良や品質改善に注力するプラントモデルの利用・シミュレーション環境構築についてご紹介いたします。 | 株式会社ヴィッツ |
| 17:15 | 閉会 | |

本用紙を申込用紙としてご利用頂き、FAXもしくはE-mailにてお申込みください。

【申込書送付先】 FAX:052-589-4027 もしくは dymola-cs@tsyscom.co.jp

＜お申込み情報ご記入欄＞

| | | | |
|------------|-------|--------|--|
| 貴社名 | | | |
| 部署名 | | 役職名 | |
| フリガナ 芳名 | ----- | | |
| ご住所 | 〒 | | |
| TEL | | E-mail | |

個人情報の取り扱いについて

本セミナーの参加登録または当日受付やアンケート提出等により、株式会社豊通シスコム（以下「豊通シスコム」という）、株式会社ヴィッツ（以下「ヴィッツ」という）及び本セミナー協賛企業、講演会社が取得するお客様の個人情報は、イベント/セミナー/製品/サービスに関するご案内を行うために利用させていただきます。なお、豊通シスコム、ヴィッツ及び本セミナー協賛企業、講演会社は第三者に対し、お客様の個人情報を提供することはありません。各社のプライバシーポリシーは各社のHPIにございます。